

令和8年度 事業計画

日本アルコール産業株式会社

令和8年3月31日

令和8年度の基本方針

令和8年度は、国内業界随一の省エネ設備である、鹿島新系列の有効活用を中心とした諸施策の実現を目指して取り組んでいく。

アルコール事業は、鹿島新系列の増強された供給力を有効に活用し、環境負荷低減に貢献しつつ、安定供給を実現する。また、日本合成アルコール株式会社の安定操業及び価格適正化の動きを支援する。

関連事業は、商品力の強化、製販体制の見直しなどにより、事業の再構築を進める。

また、新卒採用予定者の確保とグループ人事交流による人材活用を図るとともに、DXを推進し、情報基盤の安定的運用と充実を図り、住環境の整備も含めた働きやすい職場づくりに取り組む。

I . アルコール事業

■ 発酵アルコール

- 鹿島新系列で製造される、国内業界随一のCO2排出原単位が小さい製品のみを選別し、分別管理・出荷する高次制御システムを構築し、それを供給することで、お客様の環境負荷低減に貢献していく。
- 新系列と旧系列の長期併行稼働の安定化に向けて、旧系列の効果的な設備の維持管理及び併行稼働体制づくりに努め、市場の動向に柔軟に対応して安定供給を実現する。
- お客様からの情報及び要望を理解し、商圈の維持、拡大を図り、営業力強化を図るとともに、お客様のCO2削減に貢献できる製品の供給を図る。
- ウルサン原料基地の効率的運用と工場への安定回送を維持しつつ、鹿島直送にも取り組み、環境の変化に応じて適切な原料調達に取り組む。
- ISO9001、食品安全のマネジメントシステムFSSC22000について、予定される改正に適切に対応し、3工場及び関連部署と協調して認証を維持する。

■ 合成アルコール

- 原料やエネルギー資源の価格が変動する中、お客様のニーズを把握して販売数量の維持に努め、日本合成アルコール株式会社の安定操業と価格適正化の動きを支援する。

Ⅱ . 関連事業

■ 発酵製品

- ・ 特殊肥料の商品力を強化するため、基礎的な実証研究に注力する。また、新たな商品展開を足掛かりに効率的な営業展開によって拡販を目指すとともに、エコロジアルの購入実績がある顧客への新規開拓にも取り組み、拡販を図る。
- ・ 土壌還元消毒用資材は、その効果が明確で環境にやさしい商品として完成しており、営業でその特徴を訴求していくとともに、土壌病害虫の被害状況を県振興局、JA及び種苗商社から積極的に収集して農家への営業を行い、併せて土壌病害虫分析も活用して拡販を進める。

■ アルコール製品

- ・ 手指消毒剤は、使用期限切れ手指消毒剤を引取り、回収した消毒剤を有効利用している当社独自の取り組みを積極的にアピールして、販売数量の維持を図るとともに、製造・販売・在庫管理について見直しを図る。

■ 不動産事業

- ・ 賃貸又は遊休の不動産及びそれに付帯する設備の管理業務は関連事業に含め収益確保に努める。

Ⅲ. 技術力の強化

- 各工場独自技術の水平展開を進めるとともに、新たな製造技術の情報収集を図り、全工場でプロセスエンジニアリングやメンテナンス技術力の向上に努め、技術開発報告会等を通して、技術力の更なる強化を図る。

Ⅳ. 人材力の向上

- 技術系社員人材育成プログラムを確実に実行し、特に製造グループ若手社員の育成に注力する。また、教育訓練、研修、資格取得を通じ人材力の向上を図るとともに、グループ人事交流による人材活用を図る。

Ⅴ. DX推進を通じた業務改革

- デジタル化による業務の効率化を推進する。

Ⅵ. 働きやすい職場環境の整備

- 社員が仕事と家庭を両立しながら長く働けるよう、処遇改善、社宅の整備などを行い、働きやすい職場環境の整備に取り組む。

Ⅶ. 安定配当の継続

- 適正な営業利益の確保に努め、安定配当の継続実施を目指す。

収支計画概要

以上の取り組みにより、令和8年度事業計画では、以下の目標の達成を目指します。

(単位:百万円)

売上高	35,655
営業利益	458
経常利益	430